

UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

The Rotary Club of Iruma

入間ロータリークラブ

Weekly Report

国際ロータリー 2570地区
Rotary
International
District 2570

2025-2026 RI 会長:フランチェスコ・アレツツォ 2570 地区ガバナー: 坂口孝 会長: 晝間和弘 幹事: 後藤健

特別号 2025 年 9月 23日 (火)

第5回米山奨学生スピーチコンテスト最優秀賞

✿ マック ジャ ハン ✿

「日本のいいところと母国のいいところ」

皆さん、少し質問をさせてください。
自分の手の指が、なぜ長いものと短いものに分かれているのか、不思議に思ったことはありませんか？

私も子どもの頃、母にこのことを尋ねました。母はこう言いました。「指の長さは違っても、すべて同じ目的のためにあり、それぞれが役割を果たし、協力することで、手は自由に動き、物をつかむことができるのよ。」その言葉を聞いて、教育も同じだと思うようになりました。

日本とベトナムでは教育制度や方法は異なります。しかし最終的に目指すのは一つです。それは、若い世代を育て、国の未来を築くことです。

ここで、日本で心に残ったエピソードの一つをご紹介します。北海道の小さな駅、上白滝駅での話です。長年、この駅を利用する乗客は、たった一人の女子高校生でした。しかし、鉄道会社は彼女の学びの機会を守るため、この列車の運行を続けました。そして彼女が卒業するまで駅が閉鎖されなかったのです。この話を聞いて、私は深く感動しました。

日本では、たとえ一人の生徒であっても、その教育を最優先に考えるのです。なぜなら一人の未来が、そのまま国の未来と直結していると信じているのです。

では、私の故郷ベトナムではどうでしょうか。私は西原高原にある小さな村で育ちました。そこでは少数民族の家族が多く、特に子どもは中学校を卒業すると進学を諦めてしまうことが少なくありま

せんでした。しかし、そのような環境の中に、ひとつの特別な学校があります。民族寄宿制学校です。先生方は教壇に立つだけでなく、村を尋ね、保護者に子どもを学校へ通わせるように説得しました。生徒たちは教科書や制服を支給され、食事や寮での生活が提供され、学費も免除されました。

私は幸運にもその学校で学ぶことができました。学校は単に学問を教えるだけでなく、こう教えてくれました。「どんな環境からでも、夢と努力があれば、遠くまで進める」この信念が、私の心に深く刻まれています。

そして今日、私はロータリー米山記念奨学会の奨学生として、皆さんの前に立っています。私はその小さな証の一つです。ベトナムで基礎を学び、日本で成長し、視野を広げることができたことに深く感謝しています。両国は私に、「教育こそが未来への鍵である」ということを教えてくれました。

もし誰かに「あなたの夢は何ですか？」と聞かれたら、私は迷わず答えます。

「私の夢は、かつての私と同じような環境にいる故郷の子どもたちが、学びの機会を得て、自分の夢を実現できるよう手助けすることです。」教育は未来への鍵です。ご清聴、ありがとうございました。



第5回鶴ヶ島ロータリークラブ米山奨学生スピーチコンテストが9人の奨学生を迎えて開催されました。韓国、中国、ベトナム、ネパール他の奨学生(ロータリークラブ米山奨学会による交換留学生)日本語スピーチ(日本のよい所 母国のよい所)をテーマに5分間スピーチされマックジャハンさんが最優秀賞を頂きました。将来、日本と母国をつなぐ役割を果たして頂きたいです。

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店 6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：宇野健一

